

科目名 Course Name	ピアノレパートリー Piano Repertory			ナンバリング No.	K4-016		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	川田 将人・中沢 充恵						
連絡方法	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(保育士養成課程選択)						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と 到達目標	<p>音楽を通して幅広い表現活動を可能にするために、ピアノ演奏におけるソロ、連弾、弾き歌い、伴奏法の習得を図る。様々なジャンルから受講生の希望する楽曲、また採用試験での課題や内定先から提示された楽曲の指導を行う。保育現場で子どもたちの情操を養うことのできる音楽表現を目指す。</p> <p>この授業の到達目標は以下の4つである。</p> <p>① 楽曲の内容や指導のねらいを持って、子どもたちに表現指導ができるようにする。</p> <p>② 楽語や記号、フレージングなど楽譜からの情報を豊かな表現に繋げることができるようにする。</p> <p>③ コードネームの基本を理解し、簡単な伴奏で多様な幼児曲を演奏することができるようにする。</p> <p>④ 人前で演奏することを意識したピアノ伴奏、保育者としての意識を持った弾き歌いをすることができるようにする。</p>						
授業の方法	ピアノ実技を中心とした演習(実技)形式で行い、受講生は個人レッスンを受ける。同時に動画を視聴して各課題に取り組む。最終授業日に発表も行う。以下には標準的授業計画を示す。						
学習成果	L01	簡単なコードを使って楽曲を演奏することができ、幼児曲の伴奏や弾き歌いにおいて正しく用いることができる。					
	L02	豊かに表現する喜びを享受し、保育者として子どもたちの表現活動を指導することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	個々の学生のレベルに応じて課した技術的課題について、毎回授業内でフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	改訂 幼児のための音楽教育(教育芸術社)、就職試験課題曲、その他(自由曲)						
履修上の留意点 やルール等	●短い時間でも毎日ピアノに触れ練習すること。●使用教室への飲食の持ち込みを禁止とする。●事前事後学習に費やす時間の目安は45分とする。						
担当教員の実務 経験	●担当教員(職種:ピアノ講師 職歴:10年以上) ピアノレッスンにピアノ指導の経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	与えられた課題を事前事後の学習として練習して授業に臨んでいるか、レッスンの内容を実践に繋げているかを評価する。また設定された8回分の課題に適切に取り組むことで最高評価とする。	50			
レポート/作品					
発表	実技発表形式で行う。各課題楽曲の演奏意義の理解、表現力、演奏技術、難易度を総合的に評価する。		50		
小テスト					
試験					
その他					
合計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、評価方法、受講上の注意、担当者別による教材の選定と課題
	事前・事後学習	選定した曲を正確に読譜して完成させられるように、時間を定めて取り組む
2	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた 例:どんぐりころころ
	事前・事後学習	16分音符の長さや運指に注意し、表情豊かな弾き歌いを体得する。 動画①を視聴して課題に取り組む。 課題①
3	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた 例:やきいもグーチャーパー、バスごっこ
	事前・事後学習	付点のリズムや手遊びができる速さに注意しながら、表情豊かな弾き歌いを体得する。 簡易伴奏法の復習をする。動画②を視聴して課題に取り組む。 課題②
4	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた 例:あわてんぼうのサンタクロース
	事前・事後学習	右手にメロディーを置かない伴奏形の曲を拍子を崩さないようにリズムカルに弾き歌いをする。動画③を視聴して課題に取り組む。 課題③
5	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた 例:ジングルベル、雪 コードの基本について
	事前・事後学習	調性（～長調）を意識し、表情豊かな弾き歌いができるように練習する。 動画④を視聴して課題に取り組む。 課題④
6	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた 例:思い出のアルバム セブンスコードについて
	事前・事後学習	8分の6拍子の曲の流れに乗って、歌詞を大切に歌いながら演奏できるように練習する。 動画⑤を視聴して課題に取り組む。 課題⑤
7	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた 例:豆まき 和音の転回形を用いた伴奏について
	事前・事後学習	右手にメロディーを置かない伴奏形の曲をリズムに注意し、練習する。自由曲の選定 動画⑥を視聴して課題に取り組む。 課題⑥
8	授業内容	自由曲演奏① 弾き歌いのポイント:姿勢、発声
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、正確に読譜し、弾けるようにする。弾き歌いレパートリーも姿勢よく、保育現場に必要な声の大きさを歌うように練習する。 動画⑦を視聴して課題に取り組む。 課題⑦
9	授業内容	自由曲演奏② 弾き歌いのポイント:うたとピアノのバランス
	事前・事後学習	メロディーラインを歌い、強弱記号や速度記号にも注意しながら練習する。弾き歌いレパートリーも歌詞の内容に沿った表情豊かな歌い方をする。 動画⑧を視聴する。
10	授業内容	自由曲演奏③ 弾き歌いのポイント:リズムの取り方、演奏のテンポ メジャーコードとマイナーコードの違いについて
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、正確に読譜をし、弾けるようにする。弾き歌いレパートリーもリズムに注意し、子どもたちが歌いやすいテンポで弾けるようにする。
11	授業内容	自由曲演奏④
	事前・事後学習	メロディーラインを歌い、強弱記号や速度記号にも注意しながら練習する。 動画「Happy Birthday 前半」を視聴して課題⑧に取り組む。
12	授業内容	自由曲演奏⑤
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、楽譜からの情報に注意する。 動画「Happy Birthday 後半」を視聴して課題⑧に取り組む。
13	授業内容	発表課題曲の指導①
	事前・事後学習	楽曲を人前で演奏することを意識しながら完成させられるように練習する。
14	授業内容	発表課題曲の指導② 楽曲の完成
	事前・事後学習	楽譜からの情報に注意し、豊かに表現でき、音楽的に演奏出来るように完成させる。
15	授業内容	自由曲発表と講評 今後の課題及びアドバイス
	事前・事後学習	自由曲の講評を基に今後もレパートリーを増やす。